

# みどりの風

令和3年3月24日（水） 発行人：校長 角田 亮明

緑の誓い

- さわやかにあいさつをします
- 進んで勉強します
- きまりを守ります
- 心をこめて掃除をします
- みんなと仲良くします

## 1年間、ご協力ありがとうございました！！

激動の令和2年度が終了しました。新型コロナウイルス感染状況を見極めながら、その時できる最良の方法を模索し、新たな教育活動をつくり上げてきた一年。学校行事一つをとっても、開催できるかどうかの難しい判断を求められ神経をすり減らしました。それでも、何とか学年末を迎えられたのは、保護者の皆様の御理解、御支援があったからです。学校の判断を常に尊重し温かくサポートしていただいたこと、心から感謝申し上げます。

皆様にお約束した「緑の誓い+生活リズム>自己評価平均3.7」の目標は残念ながら達成することができませんでした。次年度こそ目標達成をと心に熱く誓っています。

本年度最後を飾る修了式での校長講話は、以下の通りです。

新型コロナウイルスの感染拡大に振り回され続けた令和2年度が、今日で終わります。1年生は、198日、2～5年生は、ちょうど200日の学校生活でした。

振り返ってみると、皆さんにたくさんの「我慢」をさせた一年だったと思います。二十日間の臨時休校、その分、夏休みを短くして勉強したこと、台風や大雪でも休みになりました。歓迎遠足、小体連、市内音楽祭は中止となり、運動会も秋に延期し半日で行いました。

普段の学校生活でも、音楽や体育、家庭科を中心にした交流学习や、集会活動が制限され、給食も前を向いて無言で食べることを続けています。何より、一日じゅうマスクを着用し、教室の換気を心がけ、こまめに手洗いすることを求められました。誰もが生活の窮屈さを感じ、それでも我慢しながら毎日を過ごしてきたのです。

しかし、今は耐える時。全国の、全世界の人々が必死にコロナウイルスと戦っています。この戦いはもうしばらく続くと予想されますが、緑丘小が掲げる『自律・耐性』を身に付けるチャンスと前向きに考え、みんなで支え合って進んでいきたいと願っています。

さて、今年一年の目標に掲げていた「緑の誓い+生活リズム」の6つ全部で、自己評価平均3.7を超えることは達成できませんでした。だから、この大目標は令和3年度に繋げます。今、先生達はこの目標を達成するための方法や作戦を考えています。新しく学校のリーダーとなる今の5年生を中心に、全員の目標であることを自覚し、みんなで声を掛け合って進んでほしいと思っています。

新たに、緑丘小の課題、弱点も見つけました。

それは、友達を思いやったり、仲間と助け合ったりする力が足りないということです。自分の思い通りにならない時、相手を叩いたり蹴ったりすることがたくさんありました。気持ちがむしゃくしゃして物を壊す人もいました。自分が悪いのにそれを認めず、人のせいにしてたり、先生や友達にひどい言葉を浴びせる人も見かけました。

これらの行動は、心がきちんと育っていないことを意味します。自分を大切に想うのと同じくらい相手のことも大事にする心が育っていないのです。これは大きな問題です。すぐに直さないと、自分も、みんなも傷つきます。思いやりの心、協力する心をしっかり育てることが、来年の大きな大きな目標です。

学校は、みんなと一緒に伸びる場所です。

そのことをしっかり心に刻んで、進級の準備をしましょう。